

衆議院議員



本田太郎活動レポート



2023年8月

速報 台風7号で府北部が被害 早期復旧が必要！

お盆に近畿地方を直撃した台風7号は、京都府北部のなかでも、特に福知山市、舞鶴市、綾部市に大きな被害をもたらし、家屋の浸水や土砂崩れの被害が多発しました。被害に遭われた方々に心からお見舞いを申し上げますとともに、私自身も早期復旧に向けて全力を尽くしてまいります。

私は8月17日に綾部市および舞鶴市へ、18日には福知山市へ、被害状況の確認と今後の早期復旧へ向けた対策のために、京都府中丹広域振興局長とともに現地視察に入りました。

綾部市では山崎市長とともに、志賀郷地区での土砂崩れによる大規模な土砂・流木の堆積を目の当たりにしました。物部地区では犀川の右岸側が越水し商店街で床上浸水が多数発生しました。この地域は2018年の西日本豪雨の際にも浸水しており、右岸側の堤防を嵩上げする等を検討して、河川管理者である京都府に早急な対策を求めてまいります。

舞鶴市では、久田美川および宇谷川流域での大規模な土砂・流木により道路と住戸をつなぐ橋が流出するなど被害が生じ、自動車はフロントガラスまで土砂に埋まっている状況でした。山に放置された間伐材が大量に流出するなど新たな問題点が確認され、今後、対策を取っていかねばなりません。また、浸水被害が発生した西舞鶴のマナイ商店街や高野川沿いの方々にお話を伺ったところ、フラップゲートの設





置により、浸水した水が高野川の泥を含んでおらず後始末が従前より楽だったとの評価があった反面、14日未明に排水ポンプが稼働していれば浸水を免れた可能性があるとの厳しいご指摘も頂きました。排水ポンプの迅速な稼働ができるよう市の運用の見直し等をサポートしてまいります。

福知山市の河守地区では、従前の内水氾濫ではなく山からの土砂流出による被害が多発し、初めて被害に遭われた住戸も多く、新たな課題に直面しました。また、土砂崩れで住戸が押しつぶされた南有路地区、土石流による断水が発生した市原地区も視察し、今後、大量の土砂の搬出方法、予算等について迅速な対応を進めてまいります。

なお、8月19日には谷公一防災担当大臣が福知山市大江町の陥没した道路等を視察に来られたので私も同行し、現場視察の後には西脇知事、大橋福知山市長、山崎綾部市長らと市役所で意見交換と要望もして頂きました。知事と両市長から大臣に対しては、台風7号災害を激甚災害に指定して補助率を嵩上げすること、道路・河川・農林関係施設の早期復旧に向けた財政支援・技術支援を行うこと、国土強靱化の継続的な予算確保をすること等について要望を頂きました。激甚災害指定については被害の全容が判明してからの判断になる旨の回答でしたが、その他については前向きな回答とともに、被害査定に全力を尽くし早期復旧と地域が元気を取り戻せるよう取り組むとの力強い回答を頂きました。私は地元選出の議員として、政府の取り組みを促進させるよう力を尽くしてまいります。

